

適性検査1

注 意

- 1 検査開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 検査時間は四十五分間で、終わりは午前九時四十五分です。
- 3 問題は

一
問1

 から

二
問4

 まであります。
- 4 問題用紙は1ページから7ページまであります。
- 5 検査開始の指示後、すぐにページがそろっているかを確認しなさい。
- 6 解答用紙は二枚あります。
- 7 受検番号をそれぞれの解答用紙の決められた場所に記入しなさい。
- 8 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ二枚とも提出しなさい。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（＊印のついている言葉には、本文の後に「注」があります。）

田舎いなかの小学校の生徒が学校へ行こうと思って野を歩いていると一疋ひとびきのきつねが遠くにいるのを見た。そのきつねが何かしきりと前足で顔をこすっているかと思うと、何か草の葉を頭につけて、宙ちゆうがえりのようなことをした。すると一人の百もも姓しやうにばけた。そして生徒の方にやって来た。生徒はきつねにばかされた真似まねしてさかさまにきつねをばかしてやろうと思った。それできつねがくると

「今日は」と生徒の方から声かけた。

「今日は」とそのきつねも答えた。

うまく化けたなと生徒は思った。そして行きすぎてからふりかえって見ると百姓に化けたきつねは平気な顔してどんどん町の方へ行くらしかった。

生徒はそこで心配になった。自分の家にも出かけて行ってにわとり鶏けいでもさらって行きはしないか、お母さんでもだましてあぶない目に逢あわせはしないか。そんなことがしきりと気になり出した。それで学校に行くのをやめてきつねのあとをそつとつけて行つた。

きつねは気がつかないように歩いて行つた。生徒はきつねが自分の家の方に行かずに町の方へまがって行つたのを見た。それで安心はしたが、きつねが一体どういうふうに人をばかすか見たくなつた。それで学校へ行くのをいよいよやめてあとをついて行つた。

きつねは町をどんどん歩いて行つた。そして行きあう人に挨拶あいさつした。

「あれはきつねですよ。うまくばけましたね」

生徒は逢う人ごとにいった。しかし皆みなあまりおどろくようにも見えなかった。そんなことはどうでもいい、自分にはしなければならぬことがあるというような顔していた。生徒ははりが合あいが無いように思ったが、自分がきつねの正体を見やぶったことが嬉うれしくって仕方がなかった。そして自慢じまんがしたくって仕方がなかった。

あのきつねをきつねだと本当に知っているのは自分だけだ。

きつねにだまされる人はあるが、自分のようにきつねをだました人はあるまい。自分はこうしてこう利口りこうなのだろうと思った。向こうから彼かれの友達ともだちが来た。きつねと何か話してやって来た。

「今、君の話していたのはきつねだよ」

「そんなことがあるものか」

「僕はちゃんとばけるとところを見たのだ」

「だって人間じゃないか」

「尻尾が君には見えないのか」

「見えない。それより君は一体どこへゆくのだ。もう遅いよ」

「僕は学校へゆくのはやめたのだ。あのきつねの奴を見はって

悪いことが出来ないようにしてやらなければならないから」

「そうか、それでは失敬するよ」

「君も一つ一緒に付けて行かないか、面白いよ、きつと」

「君、それよりきつねにばかされないようにし給え」

「大丈夫だよ、それなら失敬、それなら皆によろしくいって

くれ給え。明日面白い話をしてやるから」

彼は友達にわかれてから、きつねを見失うと大変だと思って

駆け出した。きつねは平気で歩いて行った。そして鳥居の前に

立ちどまって、何か見ていたが、そのまま歩いて行った。

「鶏をとろうと思ったのだな。とらしてやるものか。俺がつい

ている」

きつねは何か考えているらしかったが菓子屋に入った。それ

で生徒はあわてて菓子屋に入った。きつねはすまして木の葉を

出して菓子を買っていた。

「それは木の葉だよ。きつねいい加減にしないと承知しないぞ」

きつねは聞こえないまねして出かけていった。

「今のはきつねですか」

「そうさ、君しつかりしたまえ、これはお金じゃなくなつて木の

葉だぜ」

「そうですか、私には金としか思えません」

たたいてみて

「やっぱり金ですよ。音がします」

「馬鹿だね、君は」

生徒はふき出した。しかしきつねのことが気になるので店を

とび出した。そして一人①で笑った。世間の奴は馬鹿だな。きつ

ねの奴、俺を見たらびつくりして逃げていった。

きつねはまた豆腐屋によって油あげを買っていた。

「まだ君はだまそうとしているのだね」

生徒は馴れ馴れしくわざといった。

きつねは黙ってまた木の葉を出した。

「君、これは木の葉だぜ」

彼はそれをうばって、投げすてた。

「何をするのです。もったいない」豆腐屋の主人はあわててそ

れをひろった。そのうちにきつねは油揚げをもつて出ていった。

「今のはきつねだぜ」

「そんなことがあるのですか」

彼は口論*こうろんしたく思ったが、それよりきつねの方が気になった。それでそこをとり出した。

きつねはどんどん歩いて行った。彼もまけずに歩いて行った。しばらくゆくときつねは向こうからくる可愛い女かわいの子と何か話し出した。そしてつれだって歩き出した。

生徒はもう我慢がまんが出来ないと思った。それで、「このきつねめ、何をするのだ」といってそこにおちていた棒ぼうをもって逐おいかけた。

きつねは女の子と二人であわてて逃げた。

「逃がすものか。それはきつねですよ。きつねですよ。だまされてはいけません」

といった。しかし女の子はきつねに手をひかれて駈はなけていった。足が早いので、彼は夢中に駈けたがなかなか逐いつけなかった。そのうちきつねは女の子を突つきはなして逃げて行った。

彼は女の子の処ところへ行ったが、女の子は見えなかった。可笑おかしいと思って見まわしたが誰だれも見えなかった。そればかりではなかった。彼は山のなかに一人で立っていた。この時、山の中から声がした。

「遠いところを御苦労ごくろうさん。あなたは木のかぶとしきりと話を

していましたね。あなたの友達だと思ったのはかかしでしたよ。あなたのかかしと話しているふうは随分見ずいぶんものでした。あまり他人ひとの世話をやかずに、自分の世話をやきなさい。あなたよりはもつと賢かしこいものはいくらでもあります。あんまり得意にならずに自分程馬鹿ほどばかもの者はないと思って勉強して立派りっぱな人間におなりなさい。悪ものにあまりかわかるとあなたの方が損をしますよ。あなたをだます位はわからないのですからね。さよなら」

生徒は家に帰るまでには随分骨*ほねが折れた。今にも泣きそうな顔をしてやっと家に帰った。そしてきつねにだまされたことは誰にも話さなかった。しかしその後は悪ものにはなるだけ関係しないようにして、自分②を賢くするように骨を折った。

(武者小路実篤「小学生と狐」問題のため一部改編)

〔注〕*百姓ひやくしやう…農民のこと。

*尻尾しりつぽ…しっぽのこと。

*失敬する…別れるときのあいさつのことば。

*世間…世の中のこと。

*口論…言い合いのこと。

*骨が折れた…苦労したこと。

問1

① 一人で笑った とありますが、それはなぜですか。理由を説明した次の文章の (ア)、(イ) に入る適切な言葉を、それぞれ本文から探して答えなさい。ただし、(ア) は三字、(イ) は二字で書くこと。

世間の奴は、(ア) にだまされていることに気づかず、僕が百姓の (イ) を教えているのに、それを信じようともしない。そのことがおろかに思え、自分だけがすべてのことを理解していると、周りを馬鹿にしているから。

問2

② 自分を賢くするように骨を折った について (1)、(2) の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、このときの「僕」の気持ち（「自分を賢くする」こと）を説明しているものです。(あ) から(う) に入る適切な五字以内の言葉を考えて答えなさい。

① 他人ひとのことにかまうよりも (あ) (い) のことを考え、自分が何でも分かっていると (い) (う) ず、(う) から学けんきょぶという謙虚な気持ち。

(2) 「自分を賢くする」という本文中の意味をもとにして、あなたのこれまでの生活で「自分を賢く」した体験を、次の条件にしたがって書きなさい。

条件 書き出しは「まず目から書き始めなさい。」

また、文章は、五十字以上六十字以内で書きなさい。

、や。や「なども一字と数えます。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（＊印のついている言葉には、本文の後に「注」があります。）

① スキーマが使えない学び

書いてあることが表面的には理解できても、スキーマがないと何を言っているのかわからない。それはドラマや映画に限らない。専門家^{せんもんか}に向けて書かれた文章は、その分野の専門的な知識を持たない人には理解することが難しい^{むずかしい}。理解が難しい理由にはもちろん、専門用語がわからないということもある。

〔ア〕、専門用語がすべて解説されていても、全体の論旨^{ろんし}がわからないことも多い。これは、その専門分野での背景知識^{はいけいし}（その専門分野のスキーマ）が足りないため、書かれていないことの行間を補う^{おぎな}ことができないからなのだ。

まったく同じことが子どもの記憶^{きおく}についても言える。子どもは様々なことを学校で学ぶ。しかし、先生の説明や教科書を理解するためにはやはり、様々なスキーマを使って行間を補うことが必要だ。よく理解できないことは記憶も難しい。

さて、記憶の話をしていたのに、いつの間にかスキーマがないとテキストや人の話、映像作品^{えいざう}などが理解できないという話になってしまった。しかし、結局、理解ができないと記憶する

ことも難しくなる、ということなのだ。スキーマで行間を補うことができないと、先生の説明も、テキストに書いてあることも理解できない。無理やり覚えようとすると、無意味な数字列^{*}や単語リスト^{*}を記憶するのと同じような状況^{じょうきよう}になってしまうのである。

人は、何か新しいことを学ぼうとするときには必ず、すでに持っている知識を使う。知識が使えない状況では理解が難しくしたがって記憶もできない。つまり、学習ができない、という事態^{おちい}に陥^{おちい}ってしまう。言い換え^かえれば、すでに持っている知識が新しいことの学習に大きな役割^{やくわり}を果たしているのである。

記憶は構築^{*}される

スキーマは覚えるべき内容に意味づけをする。スキーマはまた、外界にある膨大な情報^{ぼうだい}から必要な情報にのみ注意を向けさせる。人は注意を向けて選択^{せんたく}した情報だけを記憶する。五〇〇円硬貨^{こうか}の図柄^{ずがら}をほとんどの人が憶^{おぼ}えていないのは、硬貨^{*}を識別するために図柄^{ずがら}に対しては注意を向けていないからである。

これを突き詰めると、結局、私^{わたくし}たちは、物事を客観的に記憶できないということだ。私たちは常に物事を——それが人の話であれ、テキストであれ、映画やドラマであれ、その他もろ

もろの事象であれ——、様々な知識を使って解釈し、解釈した結果を記憶しているのである。(イ)、日常生活における記憶は「客観的な出来事の記録」ではなく、知識のフィルターを通して解釈され、構築されたものなのだ。

(中略)

あ

図1を見てほしい。ある実験ではこのような、曖昧な図形を見せていった。実験参加者は三つのグループに分けられた。一つのグループの参加者は図だけを見る。あとの二つのグループでは、図形といっしょにその名前が見せられる。ただし、同じ図形に対して違う名前が付けられている。例えば、Cにも三日月にも見える図形に対して、ある一つのグループは「C」とい

図1

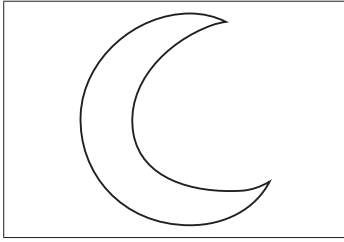
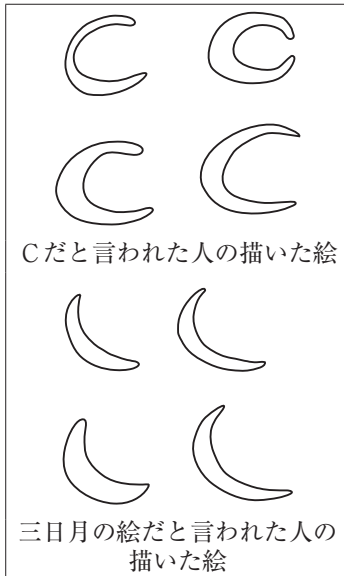


図2



う名前といっしょに提示され、もう一つのグループは「三日月」という名前が提示された。(一つひとつのことばの意味も、一種のスキーマと考えることができる。私たちは「C」という文字についてのスキーマ、「三日月」についてのスキーマを持っている。)その後、参加者は見た図形をできる限り正確に再現して描くように求められた。

図2の八つの絵が、どちらの名前を聞いた人が描いたものか、言わずとも明らかだろう。名前という知識は、図形の記憶に明らかに影響を与えている。記憶の貯蔵庫に入れられる絵は、実際に見た絵そのものではなく、名前の指すものの典型的なイメージが紛れ込んだ、自分で「つくりあげた」イメージとなっているのである。

(今井むつみ「学びとは何か―〈探究人〉になるために」問題のため一部改編)

〔注〕*論旨…議論のだいたいの内容のこと。

*テキスト…教科書などの書物のこと。

*数字列…数字の列のこと。

*リスト…名前などを並べて書いたもの。

＊構築…くみたててつくること。

＊識別…ものごとの種類や性質などをしらべて、見わけること。

問1 スキーマ^①とありますがどのような意味ですか。本文中

中の意味を十五字以上二十字以内で説明しなさい。

問2 本文中の〔ア〕、〔イ〕のそれぞれに、前後の文を

つなぐのに適切な言葉を入れなさい。

問3 本文中の「スキーマが使えない学び」、「記憶は構築さ

れる」のように、〔あ〕に適する見出しを十字以内で

答えなさい。

問4 本文中で筆者は「知識」と「学習」についてどのような

に考えていますか。また、あなたは「知識」と「学習」

についてどのように考えますか。次の条件にしたがって

書きなさい。

条件1 段落構成^{だんらく}については、次の①から③にしたがうこと。

① 二段落構成で、内容のまとめりやつながりを考えて書きなさい。

② 第一段落では、本文中で筆者が考える「知識」と「学習」について、説明しなさい。

③ 第二段落では、筆者が考える「知識」と「学習」について、あなたの考えを書きなさい。また、あなたが考える「知識」と「学習」について、自らの体験や聞きしただことをふまえながら書きなさい。

条件2 解答は原稿用紙^{げんこう}の正しい使い方^{けいり}で書き、書き出しは一

ます空けて書き始めなさい。

また、文章は、二百字以上二百四十文字以内で書きなさい。

、や。や「なども一字と数え、改行などで空いたま
すも字数に数えます。

